

奈良先端大東京フォーラム 2016 企画運営等に係る企画提案書
公募要領

1. 件名

「奈良先端大東京フォーラム 2016」の企画・運営及びマスメディアによる情報発信業務

2. 目的

本業務は、本学主催によるフォーラムを東京で開催することにより、主として産業界の関係者に最新の先端科学技術の動向や今後の展望、大学の使命等についての理解を深めてもらうとともに、フォーラムの開催を通じてマスメディアを活用した本学の特色や研究内容等の情報発信を行い、本学の全国的な認知度の向上を図るものである。

3. 業務内容及び基本仕様（以下を基準とし、具体的企画内容を提案すること）

(1) 「奈良先端大東京フォーラム 2016」（以下、「フォーラム」）の開催及びこれに付随する企画・運営業務

テ ー マ: 「未来の創造」～最先端の医療を導く基礎研究／免疫研究が切り開く未来医療～（仮）

内 容: プログラムは主催者挨拶、基調講演の他、全体として本学の次の特色等について参加者に理解を深めてもらうために最適な内容構成（例：最新の研究成果紹介、パネルディスカッションなど。複数提案可）とする。

①最先端研究の推進

免疫研究に関する若手の優秀な研究者が本学に集い、病因解明や治療法への提案へと結びつく基礎研究分野の進展に本学が大きく寄与しつつあること。

②医療・産業界との連携を見据えた人材育成

健康社会を実現するためには、産・医・学の密接な連携が不可欠であり、本学はその橋渡しの役割を果たす人材の育成に取り組んでいること。

③研究拠点の国際化の推進

研究の進展や人材の育成には研究拠点の国際化が必須であり、本学は、海外の数多くの大学・研究所と連携し、国際共同研究や留学生の受入、日本人学生の派遣を中心に着実に実績を積み重ね、このような国際化の潮流を牽引していること。

対 象 者: ①産業界関係者（製薬企業・医療関係者等）②企業・大学等研究者③学生
④その他の一般市民等

地 域: 東京都 23 区内

会 場: 300～500 名程度収容できるホールとポスター展示スペースを有する施設。
開催日当日に利用可能であることを確認のうえ提案すること。

開催日程：平成 28 年 11 月 18 日（金）

参加費：無料。ただし、事前予約により参加者数確保に努めるとともに、希望者多数の場合は抽選等により参加者を決定する。参加者へは参加券を事前送付する。

出演者：基調講演：審良静男博士（大阪大学 WPI 免疫学フロンティア研究センター拠点長、大阪大学特別教授）

免疫を専門とする本学の研究者 4 名

その他、必要に応じて適切な候補者を具体的に提案すること。（例：パネルディスカッションのコーディネータ）その際、当日の予定を事前に確認しておくこと。

運営：会場設営、受付、資料配布、誘導、進行、アンケート回収、記録、出演者との連絡調整等

(2) フォーラムの開催案内・開催報告及び本学の特色・研究内容等のマスメディアを通じた効果的な広報による本学の全国的な認知度向上

内容：①フォーラムの開催案内等を新聞、インターネットその他の広告手段を用いて発信し、集客効果を高める。（本学 HP に掲載するデザインの作成を含む）

②インターネット等によるフォーラムの予約申込受付業務を行う。

③フォーラムの開催報告を全国に発信し、社会への話題提供及び本学のイメージアップを図る。

④上記①及び③を通じて本学の取組等について広報を行い、本学の全国的な知名度の向上を図る。

(3) 業務報告書の作成等事業成果のとりまとめ

内容：フォーラム終了後、業務報告書、フォーラムの録画記録（Blu-ray）、音声データ、テープ起こし原稿及び回収した参加者アンケートとその集計結果を提出すること。

4. 実施期間

契約日～平成 28 年 12 月 31 日

5. 予算上限額（積算する際の目安とすること）

750 万円（税込）